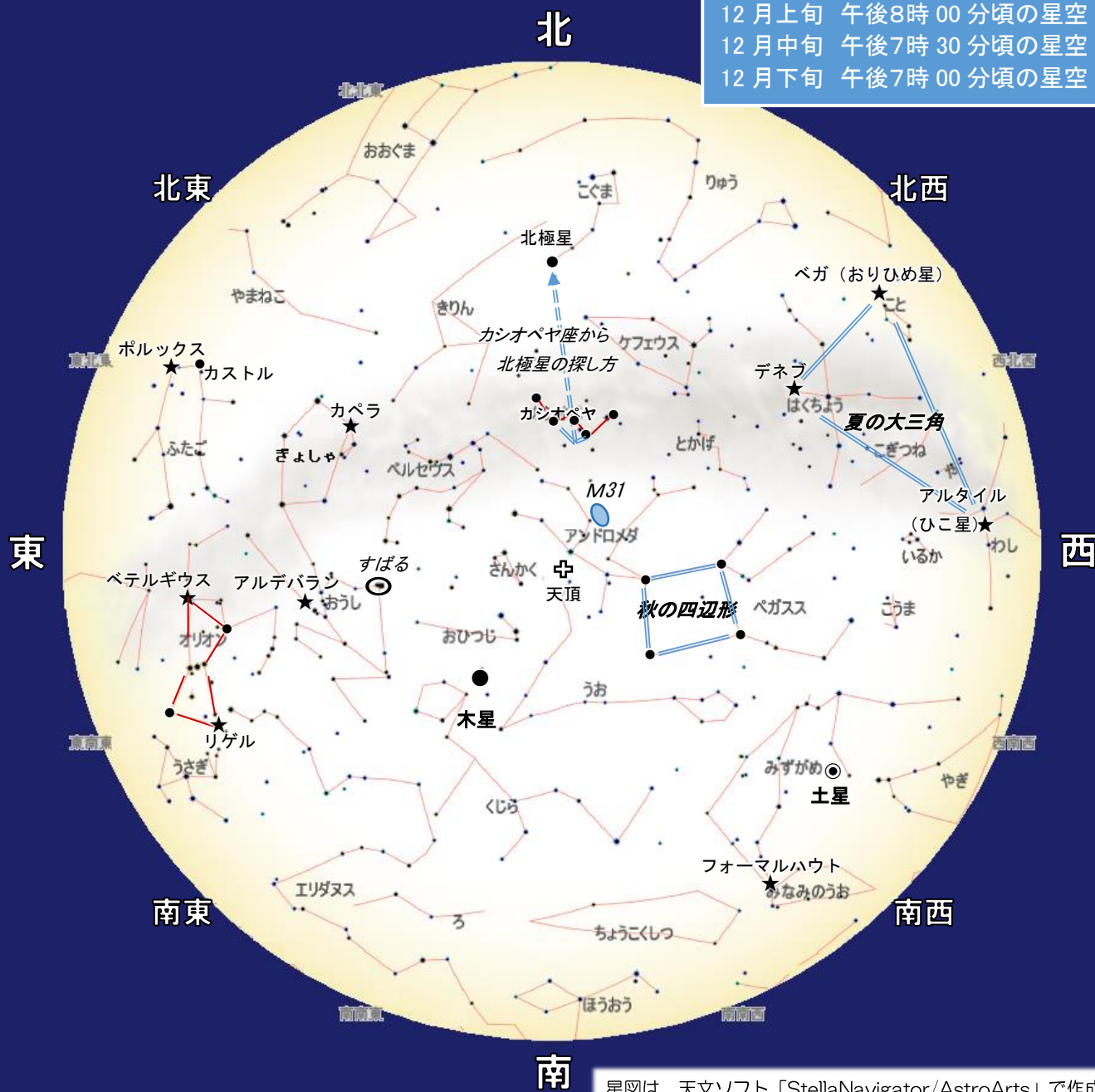


# 2023年 12月の星空案内



12月上旬 午後8時00分頃の星空  
 12月中旬 午後7時30分頃の星空  
 12月下旬 午後7時00分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成

## 【12月の星空 と ふたご座流星群】

22日が冬至です。夜が長いので、たくさんの星座を観察できます。日没後しばらくは、まだ西の空に『夏の大三角』が見えています。天頂付近には、ペガサス座の『秋の四辺形』が見えます。東の空からは、ぎょしゃ座、おうし座、ふたご座、オリオン座など 1等星を持つ冬の星座たちが昇ってきます。

15日午前4時を極大予想（天文年鑑）とする「ふたご座流星群」は三大流星群の1つです。新月直後で月明りもないため、14日から15日の夜明けまで絶好の条件で観察できます。放射点は双子座のカストルの辺りですが、四方八方に空全体に飛ぶので、暗くて見やすい方向の空を見ると良いでしょう。明るいうちに、安全に観察できる場所を見つけ、しっかり防寒対策をして観察してください。

## 【月と惑星の共演】

9日と10日は、明け方の東の空で細い月と金星が接近して見えます。また、18日には上弦少し前の月と土星が、22日の冬至には上弦をすぎた月と木星が接近して見えます。